

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

9月定例会では21・25・26日の3日間で15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長 小林 利規



## 一般質問

梶原 秀明 議員（日本共産党）

### 洪水ハザードマップを熟読しましょう

**議員** 7月の西日本豪雨災害では、住民が洪水の危険（ハザードマップ）を知らなかった、また、避難勧告が深夜に出されたため認知していなかった問題などが指摘されている。蕨市での荒川決壊時の対策、避難情報の意義の周知などどのようなか。

**議員** 7月の西日本豪雨災害では、住民が洪水の危険（ハザードマップ）を知らなかった、また、避難勧告が深夜に出されたため認知していなかった問題などが指摘されている。蕨市での荒川決壊時の対策、避難情報の意義の周知などどのようなか。

**市民生活部長** 蕨市地域防災計画に「風水害対策計画」を定め、その一環として、ハザードマップの周知（今年4月に全戸配布、土のうステーションの設置、救助体制の整備など）をしている。また、国土

**議員** 周知・啓発のため、電柱に荒川決壊時の予想浸水深を掲示するなどできないか。

**市民生活部長** 当面はハザードマップの活用を中心とした周知・啓発に努めるが、有効な啓発方法として検討したい。

**議員** 避難所でのプライバシー確保、ダンボールベッドの配備、エアコンの設置も計画に入れるべき。

**市民生活部長** 間仕切りやス



かじわら ひであき

の記載を検討する。ダンボールベッドの備蓄は検討したい。

### 危険なブロック塀の対策

**議員** 大阪府北部地震を受けて緊急に行ったブロック塀等の点検結果と対応はどうか。

**都市整備部長** ブロック塀などは37施設にあり、24施設27か所で安全性が疑われると判明した。既に措置したものもあるが、今後、必要な改修をしていく。

**議員** 民間のブロック塀の撤去等に市が補助できないか。

**都市整備部長** 所有者に責任があり、まずは所有者が対応してほしい。市の補助については課題が多いので、国の補助制度、近隣の動向を注視して検討したい。

**議員** ブロック塀等の内部構造は調べていないのか。

**都市整備部長** 内部構造は設計図書等で確認している。

**ほかに** 「蕨市の障がい者雇用の状況」について質問。

## 市内小・中学校体育館へのエアコン設置について



体育館へのエアコンの設置を(写真は南小学校の体育館)

**議員** 地球温暖化により、今夏のような暑い夏がこれから起こると思われる。普通教室へのエアコン導入が終わった今、次に体育館にも導入すべきと考えるがどうか。

**教育部長** 暑い時期における体育館の使用については、児童・生徒の体調管理等に十分配慮しながら活動を行っており、児童・生徒に水筒を持参させたり、窓や扉をあけ、換気に留意しながら大型扇風機を使用するなどの対応をしている。体育館への空調設置に

ついては、設置費用やランニングコストなどの費用面を初め、他市の事例なども参考に研究していきたい。

**議員** ある新聞の投書を紹介したい。「体育の時間、体育館で少しくらうしてしまつた。教室は冷房がきいていますが、体育館では風も生暖かく、暑過ぎて運動できない。もし災害が起きて体育館が避難所になり、子どもやお年寄りが使うことになつても冷房があれば室温を快適に保てる。難しいことはわかつているが、できれば体育館にも冷房をつけてほしい」これは本市ではないが、中学生、12歳の子の投書である。ぜひ体育館へのエアコン設置を検討してほしい。

**複合施設「交流プラザ」の空調設備について**

**議員** 入り口フロントと事務室のエアコンが故障し、また、室外機の土台が大きく傾いているが、今後の対応はどうか。  
**健康福祉部長** 交流プラザさ



みわ かずよし

くらについては、開館から20年が経過し、設備等の経年劣化が進んできているものと考えている。ここに来て1台の室外機が経年劣化により故障し、部品交換等の修繕ができない状況になったこと、残り5台の室外機についても同時期の設置であり、更には土台の傾きにより安全・保安上、支障をきたすおそれがある状態にあることなどを踏まえると、部分的、応急的な改修では根本的な解決には至らないものと考えており、施設全体の空調設備の更新も視野に入れた対応を検討している。

**議員** 障害者の方や、小さいお子さんからお年寄りまで利用されている施設であり、エアコンがきかなくなつたら大変なことになる。支障のないように、早目に手だてを講じていただきたい。

**ほかに**「老人施設松原会館の建て替え」「市内公園の修繕改良費の予算増額」について質問。

## 市民の健康づくりと環境整備について

**議員** 特定健康診査の受診率とその向上についてはどうか。

**市民生活部長** 平成29年度の受診率は43%（8月末現在）となつている。オリジナルTシャツプレゼント事業に加えて電話勧奨などを実施し、受診率向上につなげていきたい。

**議員** 本市の風疹感染状況とその対策はどのようか。また、抗体検査の実施及び風疹予防接種に対する助成についてはどうか。

**健康福祉部長** 埼玉県南部保健所に確認したところ、蕨市内の感染患者はまだ報告されていない（8月末現在）。対策としては、風疹は予防接種で予防可能な感染症であり、ワクチンの接種を検討いただくようお伝えしている。抗体検査については、埼玉県で先天性風疹症候群予防のため、妊娠を希望する16歳以上50歳未満の女性等を対象とし、



本市の特定健診の受診率はまだまだ低い。受診率向上の推進を

風疹抗体検査を無料で実施している。助成については、近隣市の動向等を注視したい。

**議員** 保健センター1階のトイレの洋式化について検討できないか。

**健康福祉部長** 必要性は認識しているが、保健センターにおける修繕や他の公共施設における改修などの優先順位を踏まえて検討したい。

**障がい者雇用の実態について**

**議員** 本市の身体・知的・精神の3つの障がい者に対する就労支援及び雇用はどうか。  
**健康福祉部長** 市では、就労を希望する身体、知的、精神



たかはし えつろう

その他の障がいのある方の就労機会の拡大を図り、身近な地域において就労と生活を総合的に支援するために、蕨市障害者就労支援センターを設置し、蕨市社会福祉協議会に事業を委託している。現在、同センターに登録している191名の利用者のうち87名の方が就労している。

**子ども議会の開催について**

**議員** 未来の蕨へ向けた発信となる子ども議会を開催する考えはないか。

**教育長** 近隣市では、子ども議会からプレゼンテーション大会等に移行しているということを知っている。市制50周年を迎えた平成21年から、中学生が多くの人の前で発表したり、聞き合ったりする「中学生の主張inわらび」を実施している中で、こちらを充実させていきたいと考えている。  
**ほかに**「防災井戸」「液体ミルクの備蓄」について質問。



## 最少経費で最大の効果を 来季の市長・市議同時選挙は自明の理である

**議員** 過去4回の市長・市議同時選挙を検証して、どう総括されてきたのか。

**選挙管理委員会委員長（以下委員長）** 平成15、19、23、27年の市長選挙、市議会議員一般選挙を同時で執行したところであり、選挙管理委員会としては、同時選挙を実施すること、選挙人が1回で2つの選挙を済ませることができる利便性や事務の簡素化、選挙執行経費の削減、投票率の向上などが図られたものと考えている。

**議員** 総括した上で、当然来期も同時選挙を実施すべきと考えるがどうか。

**委員長** 同時選挙のメリット、デメリットを考慮しながら、これまでに過去4回の同時選挙を実施した実績を踏まえ、慎重に審議していきたい。

### 「蕨市災害対策基本条例」制定の見通しについて

**議員** 私の選挙公約として「蕨市災害対策基本条例」の



猛暑により52名が熱中症で緊急搬送された  
（人数は9月17日現在）

**健康福祉部長** 市独自でエアコン設置費を助成するには予算財源のほか、助成対象者となる条件や手続方法など、事業の適正性を確保することにも多くの課題があり、現状では難しいものと考えている。

制定を求めてきたが、市は現時点でどう考えているのか。

**市民生活部長** 防災において大切なことは、自助・共助・公助の役割分担と連携であり、中でも自助・共助の取り組みは重要である。本市においては、将来ビジョンの重点プロジェクトで自助・共助・公助の連携による防災都市づくりを掲げ、更に地域防災計画では、市民及び事業者の基本的責務と役割を明記しており、市民の防災意識の向上と災害に対する具体的な備え、そして連携が進んでおり、その効果は着実にあらわれている。こう



いちのせき かずいち

### 熱中症対策として エアコン設置助成を

**議員** 今日まで、熱中症で緊急搬送されたケースはどの程度あったのか。

**消防長** 平成30年中の9月17日現在、男性31名、女性21名の合計52名の方が熱中症、または熱中症と疑われる症状で緊急搬送されている。

**議員** 低所得高齢者やひとり親世帯へのエアコン設置（上限5万円程度）の助成制度を設けてはどうか。

## 一般質問

## スポーツ団体等の パワハラ問題について

**議員** 体罰、パワハラ

については、現在もマスコミなどで、幾つかのスポーツ団体が指摘を受けている。ここではそれぞれの競技団体については是非を述べつつも、是非を述べつつも、このような前時代的な指導方法しか知らない指導者には、早急にお引き取りを願いたいと思っているのは私だけではないと思う。

本市でも、スポーツ団体やスポーツ少年団など、いろいろな団体があるが、一度実態調査をしてみてはどうか。

**教育長** 体育協会やスポーツ団体等に実態把握をしていた、だくというのであれば、教育委員会としても、できることは支援をしていきたい。

**議員** このパワハラ問題を市長としてはどのようにとらえているのか。また、本市でそのような事実があった場合、どのように対応するのか。

**市長** 選手の尊厳だったり、



指導者の意識を変えることが必要

### 運動部活動の在り方 について

**議員** ことしの3月にスポーツ庁から「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が出された。このガイ



おおいし こういち

ドラインは、特に中学生を対象とした運動部の活動の在り方を示したものであると私は理解している。ガイドラインのつとり、教育委員会は、設置する学校に係る活動方針を策定することになっているが、現在はどうだろうか。

**教育長** スポーツ庁のガイドライン及び県の方針を参酌し、本市の部活動方針案を作成して、9月の定例教育委員会で協議していただく予定である。また、校長会において意見を伺う予定でいる。

今後、この部活動方針案については、各中学校において、校長から教職員へ、保護者に対しては10月の蕨市PTA連合会において、教育委員会からそれぞれ説明を行い、意見を伺う予定であり、最終的には、10月の定例教育委員会の議決を経て、公表する予定となっている。

**ほかに** 「事務事業点検評価報告書」「生活保護における学習支援」について質問。

## コンビニエンスストアとの 災害時応援協定の早期締結を

**議員** 自治体がコンビニと災害時の応援協定を結んで、実際にコンビニのいろいろな供給体制を活用させてもらうというような事例を報道で目にした。本市においても、災害時に食料品や生活物資等が供給可能となる応援協定をコンビニと結ぶ考えはあるか。



市民生活に身近なコンビニとの災害時の応援協定締結を

を發揮し、積極的に取り組んでいきたい。

### ブロック塀の安全対策について

**議員** 通学路におけるブロック塀の点検と、児童・生徒への身を守る指導はどのように行われているのか。

**教育部長** このたびの大阪府北部地震を受け、直ちに各学校に対し、通学路の安全点検と児童・生徒への安全指導の再徹底を指示した。具体的な指導内容については、地震が起きた際には塀や建物、高い電柱、そいつたものから離れて、まずは頭を守る姿勢を

**市長** 市としても、当然主食や水等の備蓄を進めているが、大規模災害時には限界がある。こういった中で、民間事業者の力を借りるというのは非常に重要だと思っている。本市では、既にイトーヨーカ堂と災害時の物資の提供等に関する協定を締結しているが、コンビニはより身近で、しかも全国展開しているような事業所には供給能力もあるということ、更なる充実に向けて協定を結んでいくということ、は非常に大事だと思っている。市長として、リーダーシップ



ひき こうじ

とる。また、地震がおさまった後には、周囲の安全に気を配りながら、登下校するよう指導をしている。

**議員** 老朽ブロック塀の撤去を促進するため、新たな補助制度を設ける考えはあるか。

**都市整備部長** 予算措置の見込みや補助要件等、制度上の課題も多いことから、今後国の補助制度や近隣市の動向等にも注意しながら、検討していきたいと考えている。

### 自転車の駐輪について

**議員** 歩道や公道に常に駐輪している自転車やバイクへの対策はどのようなか。

**市民生活部長** スペース自体が余りないという状況の古いアパートなどの集合住宅では、道路などに駐輪をしていることがどうしてもある。基本的には、管理者にそのような状況があるということを申し伝えて、改善を促すなどの注意喚起をしていきたい。

## 「産後うつ」などへの 取り組みを問う

**議員** 産後うつは約10人に1人の発症と言われる。乳児家庭全戸訪問指導から見た本市の状況はどのようなか。また、対策への取り組みは。

**健康福祉部長** 本市では、育児不安の軽減や虐待予防のために、出産後の早い時期からの支援が重要であると考え、3つの質問票を用いた産後うつ病のスクリーニングを行っている。発症状況については、質問票における産後うつの可能性はここ3年間の平均で73%である。また、医療機関と地域保健機関が連携して、妊娠、出産、育児期に養育支援を必要とする家庭の育児不安

等の軽減などを図り、児童虐待の予防に資することを目的とした虐待予防強化事業を実施している。

**議員** 昨年度の外国人への訪問割合は全体の約9%と聞いたが、言葉が通じにくい場合の子育て状況の把握はどのようなか。また、タブレットの活用などを考えているか。

**健康福祉部長** 訪問時に言葉が通じない方の同席を依頼している。タブレットについては、今後検討はしていきたい。

**議員** 継続的訪問が産後うつの発見や予防につながる。現在は訪問回数に制約があるのか、県内11市で実施している「ホームスタート事業」を検討いただきたい。また、来年度末までとされている、子育て世代包括支援センター設置の進捗状況はどうか。

**市長** どういった体制・仕組み・場所がふさわしいのかということを鋭意検討している。



おいし けいこ

### 子育て世代のくらし 防災について

**議員** 子育て世代への公助の一環で、防災ヒント集の作成や子育てイベントでの防災コーナーの設置などはどうか。

**市民生活部長** 日頃の備えのヒント集のようなものを研究していきたい。コーナーの設置については、関係部署との協議で可能と考えている。

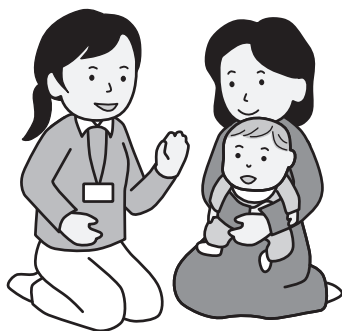
### 認知症への理解について

**議員** サポーター養成講座修了者が2千人を超えたが、今後どのように活用するのか。

**健康福祉部長** 昨年度、認知症サポーターフォローアップ講座を開催し、参加者から好評だった。今後も、地域住民だからこそできる認知症支援活動を研究していきたい。

**議員** 家族を介護する生徒（ヤングケアラー）への理解も含め、中学生が認知症を学ぶ機会をつくっていただきたい。

## あつたか市政を問う



支援の基本は気持ちを受け止めること



みやした 奈美 議員（日本共産党）

## わらびりんご通りの交通安全対策について

**議員** 錦町土地区画整理区域内のわらびりんご通りが本開通したが、交通量が増え、通学路の児童が登校するのに危険な状況である。西小学校西門近くの交差点、さいたま市境の県道・朝霞藤線とわらびりんご通りが交差する場所に

年10月に設置予定。信号機は蕨警察との協議で、交通量が基準より少なく、新規の設置基準を満たしていないため、現段階では難しいとの回答。交通量増加が見込まれるため、設置要望をしていきたい。

**議員** 信号機が難しいのなら、せめて減速を促すための効果的な看板、例えば、西小学校の保護者からも提案があった子どもの形をした看板等を工夫して設置してはどうか。

**都市整備部長** 前向きに検討していきたい。

**都市整備部長** 西小学校西門近くの交差点の横断歩道は本

してほしいがどうか。

早期の安全対策が求められる交差点（わらびりんご通り）



みやした なみ

福祉課、税務課等、7名の職員が参加した。

**議員** 市民課窓口で「やさしい日本語」も表記してほしい。また、外国人等の来庁時の説明用に「やさしい日本語」ボード等を作成してはどうか。

**市民生活部長** ボードを使用してわかりやすく説明することを検討していく。

**議員** 保育現場では全保育士の習得を進めてほしい。

**健康福祉部長** 保育士2名がセミナーに参加した。今後、全園的に取り組んでいきたい。

## 中央・西公民館の施設整備について

**議員** 両館のエレベーターの設置場所の見込みは。

**教育部長** 両館とも、調査結果をもとに設置する場所が固まり、中央公民館は1階の集会室斜め前の階段付近（2階は談話コーナーの体育室側）。西公民館は1階の階段奥（2階は調理実習室前）。現在は実施設計を行っている段階。

**総務部長** 職場研修として5つの部署で実施している。他に、県主催の「やさしい日本語」セミナーに市民課、児童

## 一般質問

榎本和孝 議員（無所属）

## 消防救急デジタル無線の談合本市の場合は

**議員** 消防救急デジタル無線の入札で全国的に談合が繰り返されていた。本市の導入に

おいてはどのようなであったか。また、外国人等の来庁時の説明用に「やさしい日本語」ボード等を作成してはどうか。

**消防長** 平成25年に一般競争入札において、1億4千910万円で三峰無線と契約した。当社はこのたびの談合と認められ、5社には含まれていない。

**議員** 蕨市においては、談合をしていった中電気の製品を三峰無線が納入した。公正取引委員会の課徴金算定対象物件に蕨市が含まれているが、これが意味するところはど

うことなのか。

**消防長** 通常で買えばいくらだったのか、談合により市がどのくらい損をしたのか、それが正確に計算できるのかという心配がある。

**議員** 公正取引委員会によれば、中電気ら談合5社は、いわゆる「代理店」を使い、入札を行っていただいたことだが、こうしたことは防ぎようがないのか。

**総務部長** これを未然に防ぐというのは、なかなか難しいのかもしれないが、三峰無線と中電気の関係が明らかになれば、必要な対応はしていきたい。

**市内の公道に面した危険ブロック塀をなくせ**

**議員** 公共施設の危険なブロック塀は今年度中に7割が改善する見通しだが、市内の民間の危険なブロック塀はどの程度あるか。

**都市整備部長** 私有地に設置してあるブロック塀の全容を



えのもと かずたか

把握することは大変難しい。

**議員** そのようなブロック塀の改修等をどう進めるのか。

**都市整備部長** 現在、古い家を中心に耐震改修の案内をして回っているので、それに合わせてブロック塀の改修の案内をしたい。

**議員** 現状の啓発では、ほとんど進んでおらず、見込みもない。ブロック塀が倒壊し通行人が亡くなれば、高額な賠償を求められる可能性を伝えるなど、実効性のある対策を。

**消費増税の影響 市民の負担増とならないように**

**議員** 来年10月の消費増税による本市の影響は。

**総務部長** 平年度ベースで推計すると、歳入で数億円程度、歳出で1億円弱増える見通し。

**議員** 歳入増を市民へ負担の転嫁することへの考え方は。

**総務部長** 消費者が負担するという考え方が基本である。

**議員** なるべく市民への負担増とならない対応を。

# 豪雨・内水被害への対策を



冠水した市道  
(8月27日、中央5丁目・6丁目付近)

**議員** 災害級といわれる記録的猛暑だった。学校・部活動での対応の継続、クールオアシスの周知など要望する。ところで、

**議員** 高齡者世帯などにエアコンなどの設置費用を一部補助する自治体がある。蕨市でも実施すべきではないか。

**健康福祉部長** 財源や対象者の範囲など多くの課題がある。クールオアシスの周知や、個別相談で各世帯の課題の解決に努めたい。



すずき さとし

**議員** 8月27日の豪雨被害の状況はどのようなだったか。

**市民生活部長** 道路冠水9か所、通行止め1か所、床下浸水3世帯などが発生した。

**議員** 9月18日にも発生。毎回、同様の場所であり周辺住民にとって影響は深刻。雨水桝や下水道管などの清掃・管理、新たな施設整備はどうか。

**都市整備部長** 清掃は計画的に行い、土砂など堆積しやすい箇所は高頻度で行う。冠水箇所では点検パトロールを実施。施設整備は、設置場所や財政措置など、課題が多い。

## 記録的猛暑への対応

**議員** 熱中症の救急搬送は。消防長 9月17日現在で52人（昨年度21人）。そのうち、65歳以上の高齡者が61%となっている。

## 生活保護引き下げの影響

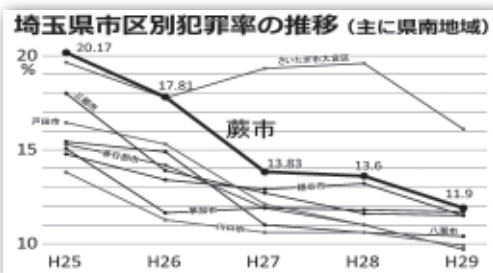
**議員** 国は3年かけて段階的に減らす改悪を行うとのことだが、開始される10月以降の影響はどうか。

**健康福祉部長** 生活扶助費で単身世帯は減額、二人世帯は増額、3人以上世帯でほぼ減額となる。10月以降の影響は、40歳単身1千500円の減、45歳母親と中3、小6の3人世帯2千670円の減など。

**議員** 影響は大きく、年々深刻になる。影響の実態把握と丁寧な相談を求める。

**ほかに** 「市民葬の拡充」「市立病院の運営」について質問。

# 犯罪率ワースト10脱却目前！市全体で協力を！



今年は9月時点での犯罪ランキングは8位です

**議員** インターネットで蕨市を調べると、治安が悪い、根拠として犯罪率が県下でもトップクラスと紹介されている。何とかこれをなくすためには、犯罪率ワーストランキング上位からの脱却が一日も早く望まれる。犯罪を減らすための施策とその効果はどのようなか。

**市民生活部長** 市内に140基設置した街なか防犯カメラにより犯罪件数が減っており、犯罪抑止につながっていると認識している。自転車盗については、蕨駅周辺で夜間防犯パトロールを実施し、駐輪や防犯指導を行うとともに、ポスターや防犯啓発チラシ等で施設などといった自転車盗への注意喚起をしており、自転車盗は平成28年411件から29年は32件と減少している。

**議員** 埼玉県地区別犯罪率、1月から7月までの速報値のランキングで蕨市は9位という位置にあり、うまくいけばワースト10からの脱却も見えていく。自転車盗を減らすなど、市全体で取り組んでワーストランキング上位からの脱却を目指して頑張ろう。

**安全安心で住みよいまち外国人との共生について**

**議員** 日本人でさえ、ごみの分別は大変なことなのに、外国人となると、更にハードルが上がる。外国人へのごみの出し方の周知について、現状と対策はどうか。

**市民生活部長** 現状としては、英語、中国語、韓国語を掲載した外国語版「ごみの分け



ふるかわ あゆみ

方・持ち出し方」を市民課での転入手続の際に配布して周知している。また、先進自治体が作成している周知用パンフレット等を参考に、作成を検討していきたい。

**後援事業における政治的中立性について**

**議員** 市・教育委員会の後援事業に政治的中立性に問題があると思われる事業が散見される。後援する基準は。

**総務・教育部長** 営利を目的としないこと、公益性を備えていること、特定の政治・宗教等にかかわるものでないこと、原則市の財政負担を伴わないことを要件としている。



## 市民待望のコミュニティバスの ルート拡充検討は進んでいるか

**議員** コミュニティバスのルート拡充に向けた検討状況はどうか。また、市民へ広報できる時期はいつ頃になるか。

**市民生活部長** 逆回りルートの導入を初め、様々な要望やアンケート結果等を基に検討中。運行事業者や警察等の関係機関と協議を重ねている。協議の進捗状況を見ながら時期を見定めていきたい。

**議員** コミュニティバスのバスの段差解消やベンチの設置についてもあわせて検討が進められているかどうか。



ベンチが設置された市役所前のバス停

**市民生活部長** ルート拡充にあわせて各バス停の改善事項等も検討している。

## 防災行政無線について

**議員** 迷い人の放送についての規定はどのようになっているのか。また、発見に至った場合の市民への広報についてはどうか。

**市民生活部長** 蕨警察署からの依頼に基づき放送している。発見に至った場合も蕨警察署から依頼があれば放送している。放送した内容は、市のホームページに掲載するとともに、テレビ埼玉データ放送やウイックチャンネルの字幕でも情報提供している。

**議員** 小学校の下校時間帯に、児童の声で地域への見守りをお願いする放送をしている自治体があるが、当市での検討状況はどうか。

**市民生活部長** PTAから要請があり、年内に放送を開始する予定。児童の下校時間について質問。



やまわき のりこ

週2回放送することで協議中。  
「子育てするならわらび」  
保育行政の推進を

**議員** 引き続き、待機児童ゼロを目指す取り組みが求められるが、どのような対応を図っていく考えか。

**健康福祉部長** 認可保育園を中心とした施設整備や定員拡大に取り組みすることで待機児童ゼロを目指す。

**議員** 留守家庭児童指導室は、今後も学校敷地内への増設が望ましいと考えるが、指導室の増設への考えはどうか。

**市長** まずは、公設公営を目指し、公設で7つ増やしてきた（運営は民営）が、人材確保も学校等での場所の確保も限界がある。施設増設の要望に応えることを優先するため、今回は場所も民間で用意してもらい、指導者の研修や交流もやっていく。今後も必要な地域への増設に取り組む。

**ほかに** 平和行政の推進について質問。

## 一般質問

## 大規模水害における実効性のある避難対策について

**議員** 西日本を襲った活発な梅雨前線による豪雨被害は、多数の死者、安否不明者が発生した。これほど広範囲で同時多発的に発生するのは初めての経験であり、未曾有の災害になってしまった。警報や行政の指示を正確に住民に伝え、迅速な避難につなげるために、実効性のある避難対策の検討は急務である。大規模水害における実効性のある避難計画はどのようなものか。



電波が届きやすい防災ラジオ（豊田市ホームページより）

わゆる防災ラジオを導入する考えはないか。

**市民生活部長** 以前、ポケットベルに利用されていた、電波が届きやすい周波数帯を用いた戸別受信機や防災ラジオにより避難情報等を伝達するサービスが提供されており、一定の効果が認められることから、まずは先進自治体の状況を情報収集していきたい。

## ブロック塀の安全対策について

**議員** 大阪府北部地震の教訓を踏まえ、一部の自治体では危険なブロック塀の撤去費などを助成する動きが広がっている。本市においては、民有地にある危険なブロック塀の撤去に対する補助制度の導入をどう考えているのか。

**都市整備部長** 対象となるブロック塀が相当数ある中で、予算措置の見込みや補助要件等、制度上の課題も多いことから、今後、国の補助制度や近隣市の動向等にも注視しながら検討していきたい。

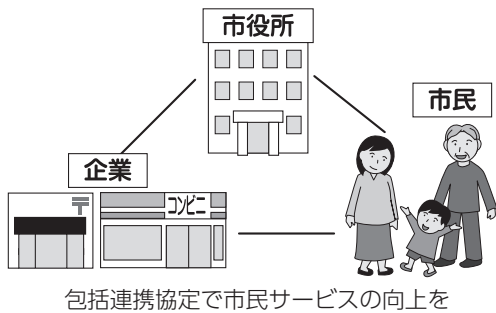
**議員** 仮称「阪市成年後見制度利用促進基本計画」の策定についての見解はどうか。

**健康福祉部長** 国の基本計画において、市町村は国の計画を勘案して、成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めることとされており、国が今後実施する各施策を参考に、関係機関や各協議会の意見を聞きながら、本市の実情を踏まえた「成年後見制度利用促進計画」の策定について研究したい。



まつもと とおる

## 企業との積極的な 包括連携協定の締結を！



**議員** 従来は都道府県単位で結ばれることが多かった包括連携協定だが、近年では市町村単位にまでその野が広がってきており、コンビニ、スーパー、金融機関などの民間企業が対象になっていることが多いようである。その内容は、災害時の物資の提供、運搬、地域の見守り活動など、それぞれ多岐にわたっている。本市における今後の協定締結への見解はどうか。

**総務部長** 本市のまちづくりにご協力いただける民間企業

等については、その連携内容に応じて個別分野の協定にとどまらず、包括連携協定の活用を図ることにより、民間企業等と協力しながら、地域の課題等に対応する協働のまちづくりを進めていきたい。

**議員** 近隣市では、本市よりもたくさん協定を結んでいる。その内容は、高齢者や子どもの見守り、災害時の物資の優先調達、行政サービスの代行、町会などのイベントへの参加など、さまざまなものがある。本市も積極的に包括連携協定の締結を進めて、まちづくりに活かしてほしい。

## 災害対策の拡充強化を！

**議員** 避難所の酷暑対策はどのようなか。

**市民生活部長** 埼玉県が一般社団法人埼玉県冷凍空調工業会から支援を受けられるように協定を締結しているのので、必要に応じて県に要請したい。  
**議員** 県と協定を結んでいる



まえかわ やすえ

事業者であっても、更に市と協定を結ぶことが可能なら協定の締結を検討してほしい。

次に、災害時における上水道対策の1つとして、スタン

**水道部長** スタンドパイプは、道路上に設置されていることが多い消火栓を用いて応急給水をしていただくことを考えているので、落下対策や車両への安全性の確保を充実していくことが必要と考えている。

**地域福祉の方向性を示す「地域福祉計画」の早期策定を！**

**議員** どのように本市が地域福祉を考えているのかを示し、各福祉分野の共通事項を定め

**健康福祉部長** 計画に盛り込むべき事項である新たな地域生活課題の研究に取り組みつつ、本市の実情を踏まえた地域福祉計画の策定について引き続き検討していきたい。

## 荒川が氾濫すると市内全域が水没する。 市外への広域避難計画を

**議員** 洪水ハザードマップは依然として市民の認知度、理解度は低い。具体的でリアルなハザードマップへと改善の積み重ねを望む。荒川堤防決壊から、水がどのくらい速く流れてきて、どのくらいの時間をかけて水位が上がっていくのか、想像できるような工夫をしてほしい。



200年に一度の荒川氾濫対策をしっかりと

**市民生活部長** 本年3月に洪水ハザードマップを改訂し、想定最大規模の降雨による荒川が氾濫した場合の想定浸水深や避難場所、避難所一覧等を表示した。今後も引き続き、避難に関する啓発や新たな避難場所、避難所の確保など、実効性のある対策を積極的に取り入れていきたい。

**議員** 現行の避難計画では、下層階が浸水して孤立する避難所に逃げるようになっていくが、これはおかしい。既に近隣市と防災協定を結んでいるので、市外の高台の避難所

## 本市独自の海洋プラスチック汚染対策を

**議員** プラスチック製品による海洋汚染が深刻な問題となりつつある。いずれ国際的な枠組みで、国レベルで対策を講じることになるが、それまでの過渡期の暫定的な措置として、本市独自の対策を。市内店舗におけるプラスチック製ストロー・レジ袋の無償提供の禁止等を検討しては。

**市民生活部長** 現状は難しい。

## 西公民館のエアコン故障

**議員** 夏前に故障したまま放置されており、地元利用者は不作為と怠慢に憤っている。経緯の説明と今後の見通しは。修理が行えない状況であったところ、入札不調もあり、9月上旬の設置となった。今後は全館の空調設備を入れ替える予定で、一番効率的な方法で実施できるよう進める。

**議員** 地元利用者は説明もなく不満である。この夏、当該部屋は使い物にならなかった。何故、夏前に取り替えなかったのか。

**市長** 古い設備であり、あれだけの規模の空調改修となると、設計に約1年、数千万円規模で改修することとなる。一刻も早く部屋を使えるような状況をつくる一番早い方法としてレンタルで増設をした。

**議員** その期間と金額の説明が妥当かどうかは判断できないが、今後、市内各施設の老朽化が進む中で、このようなことが起こらないように願う。



ほや たけし

置されており、地元利用者は不作為と怠慢に憤っている。経緯の説明と今後の見通しは。修理が行えない状況であったところ、入札不調もあり、9月上旬の設置となった。今後は全館の空調設備を入れ替える予定で、一番効率的な方法で実施できるよう進める。

**議員** 地元利用者は説明もなく不満である。この夏、当該部屋は使い物にならなかった。何故、夏前に取り替えなかったのか。

**市長** 古い設備であり、あれだけの規模の空調改修となると、設計に約1年、数千万円規模で改修することとなる。一刻も早く部屋を使えるような状況をつくる一番早い方法としてレンタルで増設をした。

**議員** その期間と金額の説明が妥当かどうかは判断できないが、今後、市内各施設の老朽化が進む中で、このようなことが起こらないように願う。



# 常任委員会 視察報告

## 総務常任委員会

### ○日程

平成30年10月30日～31日

### ○視察地・調査事項

兵庫県神戸市

「危機管理センターについて」

静岡県浜松市

「多文化共生都市ビジョンについて」

### ○調査報告

神戸市は、阪神・淡路大震災を教訓に初動対応力の強化を図るため、平成24年に地上9階・地下1階の免震構造の危機管理センターを整備しました。初動体制の確保のため、職員67名体制を維持し、災害の全容の早期把握、災害救助や応援要請等の意思決定、情報提供を迅速・効率的に行う機能を有する情報の集約拠点となっています。

浜松市は、現在約2万人の外国人が住んでおり、「多文化共生都市ビジョン」を策定し、多言語による行政情報や生活情報の提供に加えて、多文化共生センターや外国人学習支援センターを設置して生活相談、防災事業、教育支援を行っています。支援から多様性を生かしたまちづくりへの実践が進む「多文化共生都市」を目指しています。



## 環境福祉経済常任委員会

### ○日程

平成30年11月7日～8日

### ○視察地・調査事項

愛知県一宮市

「第5期一宮市障害福祉計画について」

愛知県春日井市

「ハートフルパーキングについて」

### ○調査報告

一宮市では、障害のある人が年々増加し、相談支援・就労系サービスへの需要が高まる中、第5期一宮市障害福祉計画を策定しました。一宮市障害者自立支援協議会では、障害のある人とその家族を支えるさまざまな仕組みにより、相談支援、問題の共有と解決、新たな施策へとつなぐ、官民一体のネットワーク組織を構築していました。

春日井市では、医療・介護事業者等からの訪問先の駐車スペースの確保に苦慮しているという声を受け、近隣の住民等が駐車場の空いている時間に駐車スペースを無償で提供するハートフルパーキング事業を実施していました。インターネット上で登録・予約をするシステムを構築し、駐車場の提供者と利用者のマッチングを行っています。



## 教育まちづくり常任委員会

### ○日程

平成30年11月1日～2日

### ○視察地・調査事項

宮城県仙台市

「仙台版防災教育について」

青森県つがる市

「つがる市立図書館の運営について」

### ○調査報告

仙台市では、児童・生徒の防災対応力を育む取り組みをしています。防災主任の全校配置、防災教育副読本の全校配付、文部科学省指定の研究開発学校での研究など、着実に防災教育を推進していました。平成32年度までに、すべての小・中学校が研究推進組発表校として、自校の取り組みを発表するとのことでした。

つがる市立図書館は、平成28年に大型ショッピングセンターの敷地内に開館しました。「こころ豊かな人づくりと市民の豊かな暮らしを育む図書館」をコンセプトとし、利用者数は開館以来60万人を超えています。主要産業である農業の資料の充実や子どもたちの学力向上など、地域課題の解決に貢献するという使命も託されていました。



## 12月定例会の日程（予定）

11月28日(水) 開 会	4日(火) 委員会	14日(金) 一般質問
30日(金) 質 疑	12日(水) 一般質問	18日(火) 閉 会
12月3日(月) 委員会	13日(木) //	

傍聴に来て  
みませんか？

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

【問い合わせ】4階 議会事務局 電話 (433) 7733 (ダイヤルイン)

## 広報広聴委員会を開催しました

9月26日

「12月発行号の概要について」

11月9日

「12月発行号の最終確認について」

## 編集後記

台風や地震など自然災害の多い一年でした。9月定例会でも災害に関する質問が多かったように思います。阪神淡路大震災の被災地である神戸市では、「自己判断力を高める」ことが防災の一番の基本だと、更なる市民の意識向上に向けて取り組んでおります。市民と行政が一緒になって考え、働きかけて我がまちをつくっていく「協働のまちづくり」を本市は掲げております。それに加えて、官民の連携という新しい形も模索されてきております。市民の意識、そしてチーム阪・オール阪で、有事も平時も安全安心な、誰にでも優しいまちづくりができればと思います。

結びに、一連の災害で亡くなりになった方々に心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、また被災者の皆様が一日も早く日常の生活を取り戻すことができますよう心よりお祈り申し上げます。

## 広報広聴委員会

委員長 大石 幸一  
副委員長 前川やすえ  
委員 大石 圭子  
榎本 和孝  
みやした奈美  
小林 利規  
保谷 武